

「高城プライド」 ～心と形を整える～

令和4年1月21日（金） NO29 文責 木下 文秋

面接の練習～いざ勝負！

1月26日と27日に私立高校の入試があり、多くの3年生が受験をします。1, 2年生の皆さんにも覚えて欲しいのですが、県立は「受検」私立は「受験」と書きます。県立高校では、入学試験は入学者選抜のための検査であるため「検」の字をあてるのだと思います。また、その学校しか受験しない。合格すれば必ずその学校に進学することを「専願」といい、県立も私立も受検（受験）することを「併願」といいます。県立学校では今年から「自己推薦制度」が導入され大きな変化の年で、私たちもどういう結果が出るのか全く予想ができません。高校入試に限らず、人生の節目では「面接」がつきものです。3年生は、色々な先生を面接官にして、面接の練習を繰り返してきました。面接で大事なことはたくさんあると思いますが、一番大事なことは「しっかり練習してきたこと」が面接官に伝わるかどうかだと思います。志望動機や中学校で努力してきたこと、高校でどんなことを頑張りたいか、などはよく質問されますが、途中で言い間違えても、少しくらいしどろもどろになっても、一生懸命練習したことが面接官に伝われば問題ないと思います。それに対して、私が面接をされていて「残念だなあ」と思うことは、その生徒の発言に緊張感を感じない時です。面接に対する熱意のなさが見透かされます。自己推薦制度を使って自己推薦書を書いた生徒が数多くいます。これまでの3年間を振り返り、自分自身のことをアピールできることは素晴らしいと思います。それと同時に、自分の周りの人たちの様子を見て、自分を見つめ直すことも大事です。推薦とは、優れている人や物を他人に薦めることです。推薦にふさわしい言動が求められます。多くの生徒が面接を受けると思いますが、練習の成果を十分に発揮してきてください。ちなみに、志望動機は最後まで何度も練習しましょう。実業系では「将来の〇〇という夢を実現するために、貴校で専門的な知識や技術を学び資格を取得すること」普通科では「将来の〇〇という夢を実現するために、貴校でより高い学力を身につけ大学進学を目指す」という内容になるのでしょうか。気になるニュースではコロナウイルスではなく、新聞などから身近なニュースを拾うことも好印象だと思います。難しい言葉や知識をひけらかす必要はありません。中学生らしく堂々と勝負してきましょう！